

1 農業

<p>① 学科の紹介と特色</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ・農業に関する教科・科目を設定し、農業についての専門技術や知識を習得するための高校を農業関係高校といいます。埼玉県内には県立8校、国立1校の農業関係高校があります。 ・農業の担い手や農業関連産業に従事する人材を育成することをねらいとし、「生命と食物」「自然と環境」「心と感性」「文化と生活」を学ぶための学科や系列があります。 ・平成30年度より『高校生の「農力」育成強化プロジェクト』事業として、経営感覚や国際感覚、チャレンジ精神のある農業の担い手を育成するため、「GAP」「S-GAP」の実践と認証取得に取り組んでいます。 <p>【熊谷農業高校】生物生産技術科、生物生産工学科、食品科学科、生活技術科 【杉戸農業高校】生物生産技術科、園芸科、造園科、食品流通科、生物生産工学科、生活技術科 【秩父農工科学高校】農業科、森林科学科、食品化学科 【児玉白楊高校】生物資源科、環境デザイン科 【羽生実業高校】園芸科、農業経済科 【鳩ヶ谷高校】園芸デザイン科 【いずみ高校】生物生産科、生物サイエンス科、生物資源科、環境デザイン科 【川越総合高校】農業系総合学科</p>
<p>② 学習内容</p>    	<p>普通科目は、標準単位数を基準とした必修科目を学習しますが、進学にも対応して弾力的に学習できるようになっています。</p> <p>専門科目は、25単位以上履修することが原則ですが、各学校やそれぞれの学科の特色に合わせて、必修の科目が多い場合と選択科目が多い場合がありますので、各学校の教育課程を参考にしてください。</p> <p>【全学科必修科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と環境（総合学科では「産業社会と人間」）、課題研究 <p>【共通履修科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合実習、農業情報処理 <p>【主な科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物、野菜、果樹、草花、畜産、農業機械、食品製造、食品化学、微生物利用、食品流通、環境緑化材料、森林科学、林産物利用、測量、植物・動物バイオテクノロジー、フードデザイン、子どもの発達と保育、生活と福祉、ファッション造形基礎 他 <p>専門科目の授業の他、校外学習や時間外活動等で自分の興味や関心にあつた特色ある専門的な学習ができます。</p> <p>【将来の農業者となる学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家や牧場での研修 ・試験研究機関等との連携 <p>【実験や実習主体の体験的な学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト（課題解決型）学習 ・少人数による専攻学習 <p>【個性を伸ばし、学力を高める学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ（就業体験） ・多彩な選択科目 <p>【環境問題を解決するための学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培や減農薬栽培 ・緑地の管理保全 <p>【生命を育む学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の動植物の成長 ・豊かな心と感性の育成 <p>【地域貢献と交流を進める学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安心、安全な食料」の生産と流通 ・地域ブランドの創造

<p>③ 資格取得 学習進度に合わせて専門資格を取得します。また難易度の高い国家資格にも挑みます。</p> 	<p>ものづくりや、技能・技術向上のための各種の資格取得が可能です。授業中の学習活動で取得可能な資格と、授業成果を発展させるための補習や技能講習を受けることによって取得可能な資格もあります。</p> <p>【取得可能な主な資格】 大型特殊自動車（農耕車） 小型移動式クレーン、小型車両系建設機械、フォークリフト（1t以上）、ガス・アーク溶接特別教育、刈払機取扱作業、毒物・劇物取扱者、測量士補 ボイラー技士 他</p> <p>【取得可能な主な検定】 日本農業技術、フラワー装飾技能、園芸装飾技能、造園技能、レタリング、色彩能力、トレース、電卓計算能力、ビジネス文書実務、簿記、情報処理、家庭科技能（被服製作、食物調理） 他</p>
<p>④ 進路状況 (進学、就職の割合)</p>  	<p>50%以上（大学・短大へ約20%、専門学校へ約30%）が進学しており、将来的に農業自営を考えている生徒もほとんどが進学しています。高校3年間に高い目的意識と意欲を持って学ぶことから、大部分が推薦入試の指定校枠等を利用して進学するのも大きな特徴になっています。また、食品製造や食品加工、食品流通等の農業関連分野に就職している卒業生も多くいます。</p> <p>【農家自営や農家研修】 新規就農がしやすい環境です。自営基盤のある（農家出身）生徒はもちろん、自営基盤のない（非農家出身）生徒にも埼玉県や各市町村との連携で、きめ細かな営農指導を行います。その他、農業生産法人への就職も支援します。</p> <p>【進学先（大学）】 帯広畜産大学、筑波大学、宇都宮大学、千葉大学、埼玉大学、新潟大学、静岡大学、酪農学園大学、明治大学、東京農業大学、日本大学、女子栄養大学、日本獣医生命科学大学、玉川大学、東洋大学、立正大学 他</p> <p>【進学先（専門学校）】 埼玉県農業大学校、千葉大学園芸別科、高等技術専門校、テクノハイ園芸 他</p> <p>【就職先】 県内各JA、アイパーク、赤城乳業、山崎製パン、ヤオコー、ベルク、園芸市場、大正製薬、高田製薬、キャノン電子、JR東日本、王子製紙、大日本印刷 他</p>
<p>⑤ 生徒の活躍状況 (部活動を含む)</p>	<p>農業関係高校ならではの活動として、全国の農業関係高校の生徒約9万人が加盟する「日本学校農業クラブ（FFJ）」があります。校内大会から、埼玉県、関東地区、全国大会へと展開され、それぞれプロジェクト発表、意見発表、農業鑑定・家畜審査・測量などの競技大会が実施されます。</p>
<p>⑥ 在校生・卒業生の声</p> 	<p>私は今、充実した高校生活を送っています。実習は体力を使うこともありますが、やり終えた後は達成感で一杯になります。野菜や花、樹木の成長を見るたびにうれしい気持ちになります。フラワーアレンジメントや造園計画などは将来役に立つことばかりなのでやりがいを感じています。【在校生】 高校では細胞や微生物などミクロ的な要素と生態系のマクロ的な要素を幅広く学習しました。また、農業系四年制大学の進学を視野に入れた学習内容なので、進学希望の私にとってはピッタリの学校でした。【卒業生】</p>
<p>⑦ その他 (全国大会等での活躍)</p> 	<p>平成29年度日本学校農業クラブ（FFJ）全国大会（岡山大会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業鑑定競技 農業分野 優秀賞 熊谷農業、いずみ、児玉白楊 園芸分野 優秀賞 熊谷農業、杉戸農業、いずみ、鳩ヶ谷 食品分野 優秀賞 熊谷農業 造園分野 優秀賞 いずみ、児玉白楊 <p>平成29年度上級技術検定合格者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業機械 熊谷農業 11名、杉戸農業 5名 ・測量 秩父農工科学 10名、杉戸農業 3名 ・簿記 熊谷農業 35名、杉戸農業 32名